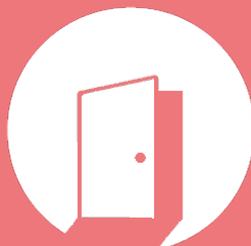


一般社団法人 *new-look*

高校中退に関わるすべての若者が、自分らしく生きるきっかけを

ANNUAL
REPORT

2015



ナイトクルージング

C o n t e n t s

ごあいさつ

新規事業の紹介

- 4 TOB塾PACサポート
- 5 ブルームーンラボ

継続事業の報告

- 6 TOB塾
- 7 卒塾生インタビュー
- 8 となりのはたけ
- 9 ヒラケゴマプロジェクト
- 10 ナイトクルージング
- 11 その他の活動（社会体験）など

事務局からのお知らせ

- 12 メディア掲載実績
- 13 会計実績
- 14 ご支援の報告とお願い
- 15 2016年度、やりたいリスト

設立3周年、初めての年次報告書に寄せて

一般社団法人new-lookが高校中退者向けの小さな塾として始まったのは3年前。

「高校中退に関わるすべての若者が、自分らしく生きるきっかけを見つける」ことを目指し、高校中退者をはじめとして、中卒者、通信制・定時制高校生など、出会う1人ひとりと向き合ってきました。それぞれに必要なと思うものだけを作って動いた3年間でした。

その結果、TOB塾だけでなく、ナイトクルージングやヒラケゴマプロジェクト、となりのはたけ、TOB塾PACサポート、ブルームーンラボ、また、今は活動を停止しております虹色meetsなどのプロジェクトがそれぞれ形となって始動していきました。しかし、それぞれのプロジェクトはどれも芽吹いたばかりで可能性の一端を見せているにすぎません。それぞれに込めた思いは、まだまだ社会には届いていないように感じています。

自由にできるからこそその厳しさ。

これは、new-lookのみならず、高校中退者自身が置かれている状況も表しています。「中退」ということで根本的に脅かされている自尊心、未来の選択肢がないかのような世間の風潮とそれに同調する家族と社会。高校中退者はそういったものの中で負のスパイラルに入っていくってしまいます。その結果、より難しい状況へと追いやられていってしまいます。

しかし、本当は自由に人生を作っていく道がたくさん隠されているのです。だからこそ、団体として、法人として、たくさんの可能性を示せるような行動を見せていかなければならないと思っています。同じような中退経験者が“たった1人でゼロから立ち上げ、様々な方法で高校中退者の次の一歩を探っていく。その中で多くの人に応援してもらい、助けられながらnew-lookが存在している。” という姿勢で語れるものもあるのではないかと考えています。

高校中退は、「落ちこぼれやダメなやつが選ぶ道などではなく、自分で自分の人生を選択することができる可能性を秘めた道である」。そんなことを高校中退に関わるすべての人たちに伝えていきたいです。

高校中退者たちが抱える多岐にわたる問題・課題。

高校中退者が抱える背景は、家庭や友達などの人間関係、経済的状況、病理的状況、性格的特性など様々です。これに目を向けず「本人の努力が」とか、「本人の責任が」などという安心を得ても何も残りませんし、卵が先か鶏が先かを考えていても仕方ありません。そのため、迎え入れる個人個人に対応できるように一層の努力をしていきます。

new-lookはそういった状況の中、次年度以降にも新しいプロジェクトのために動きたいと思っています。しかし、今の構想ばかりにこだわるのではなく、今後も中退者たちの声を聞きながらも、必要な事業を取捨選択し、一層多くの中退者にアプローチするとともに、高校に通う以外の生き方にも自信を持てるようにサポートしていかなければならないと思っています。そのためにも、動き出している事業たちの拡大・安定化を目指し、新しい気付きを拾って形にしながら進んでいきます。

まだまだ私たちが活動できる余地はとても大きいと感じています。

new-lookは引き続き、高校中退者と一緒に走っていきます。今後とも、温かいご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



一般社団法人new-look
代表理事 山口 真史

TOB塾、ひとり親家庭の親御さん向け学習プラン

はじめに

きっかけは、TOB塾の問い合わせにシングルマザーの方が来られたことから。

ひとり親家庭の経済状況などの厳しさを表すデータや言説は、少し調べるだけでも多く見られます。また、経済的な状況だけではなく、親御さんが小さなわが子を守りながら生きていくことはいろんな難しさを伴うことも容易に想像できます。そんな中で、TOB塾に通うための費用もそのための時間や労力も、とても負担できないような状況だと思っていました。

平成27年4月から厚生労働省が「ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業」を始めました。これをきっかけに、何とか高卒認定取得に向かってもらえるように、TOB塾PACサポートをスタートいたしました。



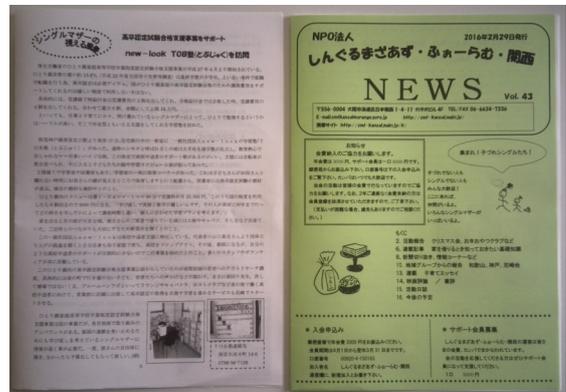
【はたけで遊ぶ子供たち】
(写真はイメージです)

PACサポートの特長

- 子どもと一緒に通塾も可能。
一緒に通塾しても追加料金はありません。保育士資格のあるスタッフや、レクチャーを受けた学生などのスタッフがお子様を見ておりますので、勉強に専念していただけます。キッズスペースも設けております。

- 授業料は実質、月8,000円程度。
(厚労省の制度利用、事後精算した額)

それでもひとり親の方が子どもを育てながらとなるとかなりの負担です。完全1対1の個別学習、授業時間の柔軟な対応、全教科最短距離で、高卒認定取得をサポートします。



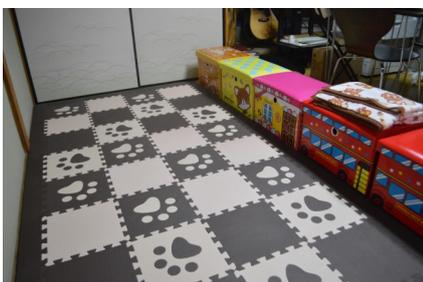
【しんぐるまざあず・ふぉーらむ・関西の機関誌で紹介いただきました。】

制度による補助が入ったとしても、月8,000円の負担はなかなか厳しいものがあります。さらに、後払いの制度のため、一時的には経済負担の緩和にはなりません。また、それ以外にも、勉強するための時間や労力などにおいては個人の努力を求めるほかありません。このあたりに対して、負担軽減できるような仕組みづくりも今後考えて進めていきます。

PACサポートからの方向性

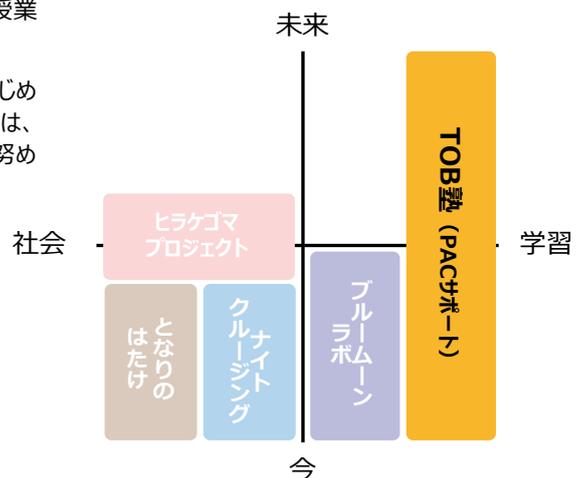
高校中退者にはひとり親家庭の親御さん以外にも、様々な理由で、塾などの学校教育機関での学びに恵まれなかった人たちが多くいます。TOB塾では、ひとり親家庭に限らず、所得の少ない家庭などの高校中退者（中卒者）に向けて、授業料補助などの制度の設計を目指しています。

TOB塾PACサポートはそんな方々に向けたサービスを充実させていくためのはじめての一步です。行政のサポートを受けながらの形でスタートさせましたが、今後は、new-look自体や高校中退者本人たちができるところから学びの場の確保に努めていけるようにプランを作っていくと考えています。



【キッズスペース】

【new-look事業領域】



はじまり

ナイトクルージング（夜回り活動）×TOB塾（高校中退者向け個別学習塾）。new-lookで進める活動から生まれた社会的にも新しい事業。

高校中退者の勤め先として、現場系の肉体労働や水商売、飲食店などが多く見られます。女性でも現場に出たり、男性でも水商売の道へ進むといった話も耳にします。彼らの話を聞いてみると、高卒認定試験の受験方法を知らなかったり、ほかの道を知らずに周りがある情報からそれらの職に就いていたりする人が多いことが分かりました。また、「長く働ける仕事じゃない」という声も聞こえてきます。

そういった人たちの将来の選択肢を増やすために、ナイトクルージングで出会ったお水のお店のオーナーさんと相談を経て、ブルームーンラボは生まれました。



【ラウンジでの授業風景】



【お客さんのいない静かな店内】



【店内で勉強する受講者】

- ・勤務しているお店への出張授業。

水商売はとてもハードなお仕事です。そこで働いている方々にもいろいろな背景や事情があります。最も負担なく高卒認定資格を取得してもらうために、出勤する仕事場をお借りして勉強を進めるスタイルにたどり着きました。

- ・授業料の負担のバランスが選べます。

授業料は、オーナーさん負担型、キャストさん負担型、折半型などがあり、受講者とオーナーさんと相談しながらプランを組み進めていくことが可能です。例えば、1店舗目はラウンジでスタートしましたが、オーナーさんが負担してくださっています。

また、両者の負担を軽減するプランも準備していますのでそこも含めて、良い形で導入していただけることを期待しています。

- ・今日使える知識も盛り込んだテキスト。

今を生きるお水の世界の方々が高卒認定試験の勉強をすることはとてもハードルが高いことです。今日お仕事で使えるような知識や考え方などをコラムに記し、学びを進める動機をサポートします。

ブルームーンラボの特長

ブルームーンラボからの方向性

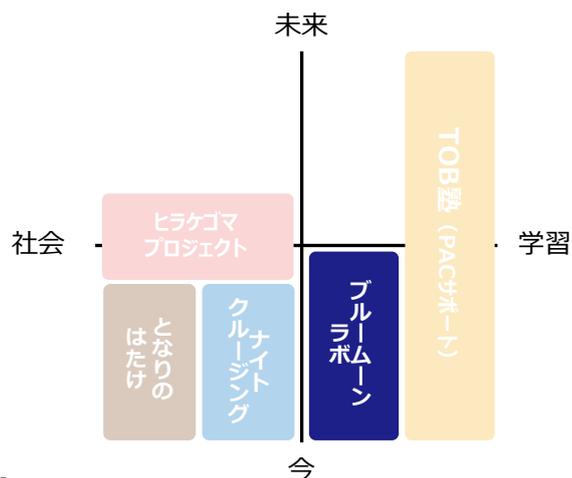
「水商売」×「塾」という組み合わせは、あまり見られるものではありません。new-lookでは、今の社会に存在しないものであっても、高校中退者にとって意味がある、必要であると思えばやってみる、という考え方で進んでいきます。

今後は、ブルームーンラボの拡大に努めたいのはもちろん、現場系や飲食系のお仕事にも展開できればと思っています。そのためにも、それらの業界で働いている人たちの気持ち、経営者側の気持ち、別の道を選ぶリスクなどしっかりと向き合い、双方にとって良い形を探っていきます。



【ブルームーンラボの面談風景】

【new-look事業領域】



高校中退者のための個別学習塾

Since2013.5

TOB塾の特長

new-lookの基幹事業。始まりはここから。

1対1の完全個別の授業で、1人ひとりのスタートとゴールに合わせた取り組みで進めていく学習塾です。高卒認定試験の突破を目指す人もいれば、大学入試を目指す人もいます。勉強を進めていく中で、やっぱり就職したいという声に合わせて、履歴書の添削や面接の対策などもしつつ、それぞれの道を作っていくこともあります。自分で考え、自分で決定し、自分の将来を作っていく、そんな姿勢をサポートしていきます。

「前に進みたい」。その気持ちに希望を示しながら寄り添い、「高校中退だからこそ」の多様な道を作っていきたいと考えています。



【授業の1シーン】

今年度のトピック

【授業の合間に】



今年度の卒業生の進路

- ・ 大学入学のため4名が卒業しました。
- ・ 高卒認定を取り終え、3名が卒業しました。
- ・ 猟師を目指しバイトに専念するため1名が卒業しました。

入塾して、自分と向き合い、やれることもやれないこともある中で、それぞれが次の進路に進み始めていきました。塾生が増えていくにつれて、背景も目指す先も多種多様になっていますが、その一つ一つに寄り添い、見守っています。「塾に通いづらい」や、「成績が上がらない」といった悩みなどを、その時々で話を聞きながら、自分でどうすべきかを見つめる機会を大切に塾生と向き合いました。

【2015年度 お疲れ様会の様子】



高校中退者とTOB塾

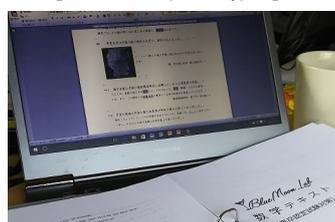
「高校中退」で自信を無くしたり、負い目を感じている人たちは多くいます。だから、まずは高卒認定試験を取ることを目指します。そのためにはある程度の勉強が必要なので、これをTOB塾でサポートします。高卒認定の取得がどれほどの効果を持つかは、取得の仕方や時期によっても様々ですが、これによって、その先の一步を具体的に考えていけるきっかけにもなりますし、「高校中退にケリをつけた」という意識が前を向かせます。

前を向いた先にはそれぞれの景色が広がっていますが、大学や専門学校への進学のコストが高いため、これについても、引き続きTOB塾でのサポートをしています。

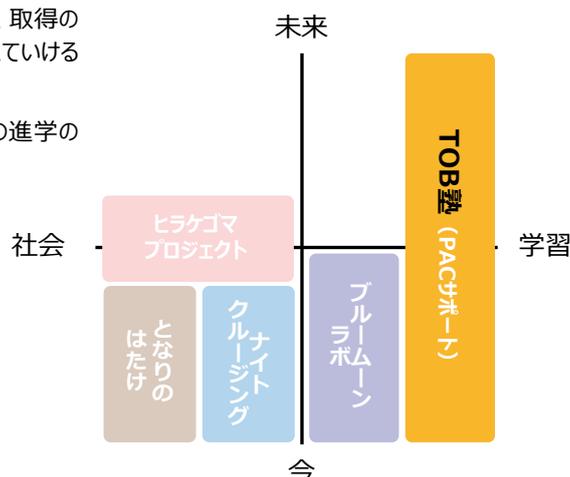


【講師の宿泊研修の1シーン】

【オリジナルテキストの作成】



【new-look事業領域】



－ 慎吾にとってTOB塾はどんな場所だった？

授業がすごく役に立ったとか、勉強を教えてくれるというよりは、リズムを整えてリフレッシュできる場所でした。自分のやり方で勉強を進めたかったので、それがとてもありがたかったです。

－ 自分で結構勉強できてたもんね。

昔から、短期間の勉強は結構できるなと思ってたんです。そのときだけガッツと集中してやるみたいな感じ。でも、長期になるとどうなるか分からなかったのが不安でした。実際やってみると、勉強に対する不安とか、将来に対する不安とかいろいろ出てきて、結構難しかったです。

－ その辺のリズムを整えるのがTOB塾だったってことね。

そうですね。特に、夏が明けて、受験校への到達度が分からずどんどん不安になっていったときとか、問題は解けるようになってきたけど「本番大丈夫か？」って悩んでいた時期とか、とても助かりました。

塾に行ったときは講師と話したりして頑張ろうと思えましたし、自宅で追い込むために途中休塾した時もLINEや電話がありましたし、塾に「頭の整理手伝うよー」と誘われた機会があったりもしました。そんな感じで本番まで塾に通ったり、家でこもったりしながら進んでいきました。



「自分の意見を言うと、周りから浮いてしまって。周りに合わせて自分の考えを話せないのがしんどくて、そのことがきっかけでクラスでの集団生活をとても窮屈に感じてしまって学校に行きづらくなっていました」

－ 受験勉強を最後までやり切れたのはどうしてだと思う？

一番は、“自分でできる範囲の無理”を続けていたことだと思います。あとは勉強しているときに、「周りには関係ないし、やることやっていけば最後はハッピーエンドになる」と信じ続けたこと。合否を考えてしまうと不安になるので、それよりも日々やるべき勉強をやっているかどうかだけを見ていました。そうやって勉強続けると、最後のほうには「受からなかったら、取らなかった大学が悪い」とまで思っていました（笑）。そういう開き直りも大事だと思います。

－ 大学で、普通に高校卒業してきた人との違いを感じることはある？

気にするほどの違いはないと思います。むしろ、自分で進路を選んで自分で進んできたという自信はありますし、そのあたりで自分の考えをしっかり持っているという意味では少し違いを感じることもありますね。

逆に、自分は自分、とあまり周りが気にならなくなりました。大学には自分よりできる人もできない人もいろいろいるし、自分が決めたラインができていればそれでいいと思っています。なので、大学の勉強もですが、自分の判断でして、自分が興味のある分野についてもっと考えて動いていきたいですね。

－ 最後に、TOB塾で印象に残っていることは？

やっぱり一番最初ですかね。高校辞めてから所属もなくフワフワした落ち着かない生活で、何をしたいか分からなくて不安でした。だけど、TOB塾にあっさり入塾が決まったら、地に足がついた感覚があって、次に進めるイメージを持ってました。

あとは、休塾してるのに何度も連絡してくれてたのが、そこに所属してることを確認できてるようでうれしかったです。

（聞き手：山口真史）



将来の進みたい道についてもいろいろ話してくれた武藤さん。現在はメディア関係のことを学びつつ、自分の道を模索しているところだとのこと。new-lookとのコラボで世の中に新しい価値を発信できる日が来ることを待っています！

高校中退者と地域をつなげる農園

Since2014.8

TOB塾社会体験の一環から

“となりのはたけ”はTOB塾における社会体験の一環としてスタートし、現在2年目を迎えました。今年度は週2回、およそ400平方メートルの畑で野菜の植え付けから収穫までを塾生・スタッフと共に育みました。小さな種から発芽し、双葉、本葉と毎日成長する野菜を観ながら、雑草を抜いたり土を耕したり。自分のペースで作業を進め、好きなときにおしゃべりできる。収穫の時期を楽しみにし、みんなで調理して食べたり、地域の人たちに販売してみたりして、様々な喜びを味わっています。

皆と一緒に土を触り、野菜を育てるということ。それは、季節の変わり目を体で感じ、日々の成長を手助けし、見守ることです。虫が出たと叫び、雨が降って来たら雨宿りをし、暑くなったら日陰で休む。社会生活の中で忘れていた自然、生き物を相手にすることの大切さを思い出させてくれます。そんな環境が塾の“となり”にあることで、塾生・スタッフの気づきや成長、癒しに繋がっています。



【菜の花が咲く、春の畑】

今年度のトピック

今年度は、“となりのはたけ”の他に、食事会や野菜の販売会“となりのはたけのおいしい野菜”を開催しました。

1. 食事会では畑作業の後のお昼ご飯や、晩ご飯を塾生・スタッフと共に囲むことができました。畑の参加者には食事会チケットを、畑に参加していない塾生・スタッフは材料代だけもらうスタイルで始めました。メニューには極力畑で採れた野菜を使い、皆で慣れないながらも楽しく調理しました。失敗する時もありながらも、一生懸命に育てた野菜を、採れたてのまま調理して食べることができたのは良かったです。同じ食卓を囲み、自然体でTOB塾に通える生徒が増えたように思います。



2. 昨年のご近所さんにお配りしていましたが、今年は収穫の多かった月に野菜の販売会を行いました。塾の周辺地域にピラを配って宣伝し、塾の前に看板を設置しました。自分たちで育てた野菜を販売することで、生産者と消費者の関係を学ぶことができました。スーパーで売られている野菜の綺麗さを見て、農家の妻さを実感し、改めて野菜作りの難しさを痛感できました。

販売会はアルバイト経験のない塾生には良い練習の場となり、スタッフが手本となって運営してくれました。また、畑作業を行っているときに話しかけてくれる地域の方が増え、販売会を楽しみにしていると直接声をかけてくださいました。

はたけなどの体験をする意味

高卒認定のような資格はとても目に見えやすく、その必要性も分かりやすいのですが、new-lookが高校中退者に対して今必要なものとして、学力の他に社会性を挙げています。こちらは、定義も難しく、何の認定でも資格でもありません。また、それが身につけていても、身につけていなくても大学進学などの次の一步には進めます。しかし、その先でつまづくことも多く、できるだけ早い段階から、人と協働すること、人と関わること、自分が課題だと思ふことを乗り越えることから目を背けないような取り組みも続けていきたいと思っています。ここでの失敗を将来につなげられるように見守ってまいります。

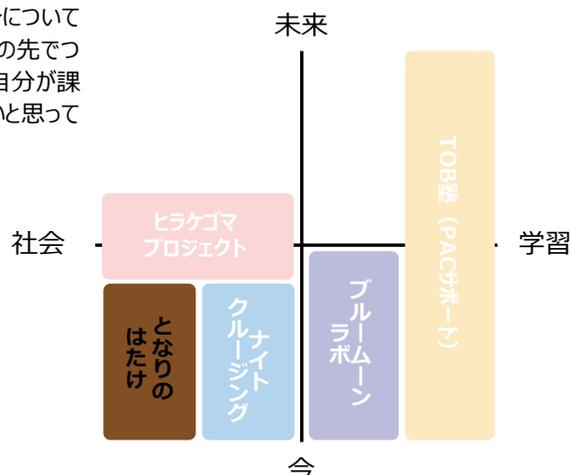
【new-look事業領域】



【はたけのあとのご飯の時間】



【夏野菜の販売会】



「高校中退者の経験を伝える動画メディア」

ヒラケゴマプロジェクトについて

ヒラケゴマプロジェクトは、過去に高校中退を経験した社会人が、高校を中退してすぐの人やこれから中退する人などに自身の経験を伝える動画メディアです。

実際に高校中退を経験された方々へのインタビューを撮影、編集し、インターネットを通じて動画を配信することでロールモデルを発信する活動をしています。

2014年9月から事業を本格的にスタートさせ、8人のインタビュー動画の掲載が完了しました。1人でも多くの高校中退者が、この動画を見て自信を持ち、次の一步を踏み出すためのお手伝いできればという思いで活動しています。



【実際のインタビュー動画より】

今年度のトピック

今年度は昨年度に引き続き、新たに3本のインタビュー動画を撮影しました。ソムリエ、ヘルパー、ミュージシャンなど様々なゲストの方々にご協力いただきました。



【水船一樹さん】

職業：ソムリエ

中退後：通信制高校の夜間に編入

高校2年生の時に、親の敷いたレールに乗って生きるのが嫌になり高校を中退。その後はアルバイトやバンド活動しながら、39歳の時にソムリエの資格を取得する。



【みやすけさん】

職業：ヘルパー

中退後：通信制高校へ入学

精神的な病気のため高校1年生の時に学校を中退。自宅休養中に見た番組がきっかけで、6年前にヘルパーの資格を取得し現在も活躍中。



【森口太一さん】

職業：ミュージシャン

中退後：通信制高校へ転校

集団生活に馴染めず、高校2年生の時に通信制高校に転校し、大学に進学。その後は音楽活動しながら職を転々とし、30歳の時に音楽活動を本業としてスタート。

new-lookでのポジション



【2014年 オリジナルサイトオープン】

ヒラケゴマプロジェクトは高校を中退した方々へ進路選択の多様性を示す事業として生まれました。

今後は、今年度撮影が終了した3本のインタビュー動画の編集・HP掲載を予定しております。また、高校を中退した方々が社会に出るためのスキルや経験を積んでもらうような活動を行うことで、ロールモデルづくりだけではなく新たなアプローチの切り口もつくっていきたくと考えております。

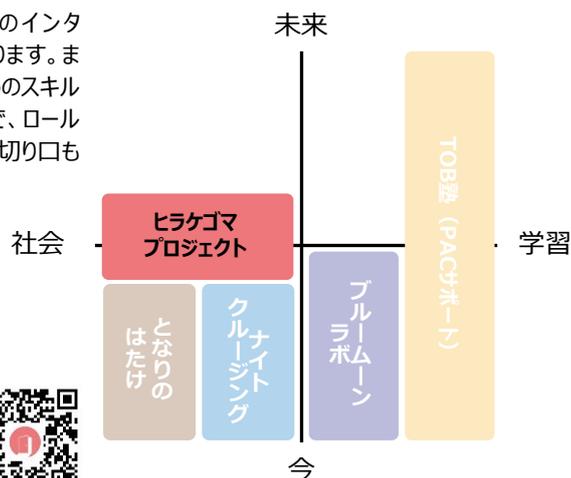
高校を中退した、あなたの声を聞かせてください

「ヒラケゴマプロジェクト」が高校を中退した方々のロールモデルを示し、多くの中退者・中卒者の次のステップに進む手助けになるためには、たくさんの事例や経験談が必要です。

そこで本事業に共感していただき、高校中退のご経験をお持ちの方々にぜひゲストとしてご協力いただければと思います。興味のある方は右のQRコードよりアクセスしていただくか、お電話くださいますようお願いいたします。



【new-look事業領域】



補導でも指導でもなく

今の高校中退者がどういった問題を抱え、どんな理由で高校を辞めているのかを知るために話を聞きたいと思い、実績も後ろ盾もない私たちでもつながりを持てる高校中退者ということで、夜の街にいる若者たちに声をかける活動を始めました。

高校を中退して働いている人や無職の人、全日制から通信制や定時制に転校した人たちなど、いろんな人たちと出会う夜の街。話を聞いていると、高校中退が一個人の気分やサボリなどだけでなく、それぞれに大小さまざまな背景があることが容易に分かります。この活動を続けていると、夜の街にいる人たちへの、「怖い」「だらだら遊んでいる」「ろくでもない奴ら」のようなイメージとは少し違うものが見えてきます。

現在は、お話を聞きにいくだけでなく、最終的に相談できる・頼れる場所として、ゆるいセーフティネットとして連絡先を配る活動としても続けています。



【商業施設の軒先】

今年度のトピック

今年度も週1~2回のペースで西宮市、尼崎市を中心に回りました。少しずつ関係性を深められる人も出てくるようになりましたが、夜の街に溜まることに「カッコいい」などと思う文化が廃れてきていると聞きます。年齢も14歳~17歳が中心で、それ以上の年齢になると夜の街に溜まること自体から卒業していくようで、その後のつながりを追いかけることが極めて難しいと感じています。

- ・ 若者たちが溜まっていた場所や店舗が行政指導などにより、追い出しが厳しくなっています。
- ・ 数組に「前〇〇で会った人やん」などと声をかけられるようになりました。
- ・ 定期的に会う人に、進路相談などを持ちかけられるケースが数件出てきました。
- ・ 夜回りのつながりで、その親戚の1人が相談に来られ、入塾しました。

夜回りは、助成金などの財源がないと安定的な継続やデータの蓄積が難しいです。趣味的に気楽に行けるときだけ行く夜回り自体も悪くはありませんが、どうしても感覚的なものになってしまうために、そのあたりのバランスが難しいところ。それでも、今年度は夜の街だけで、200枚以上の名刺を手渡すことができました。

また、主に西宮市の中学校が落ち着いてきているせいか、夜の街にいる若者の数が目に見えて減ってきているという実感があります。そして、パトカーなどとすれ違う回数が増えている印象もあります。そういう子たちを散らすのも警察のお仕事の一つではありますが、その子の家庭環境をはじめ、取り巻く状況は変わらないでいると思われるので、別の心配も出てきています。

【2015年11月~は、ドコモ市民活動団体への助成金によって活動を支援いただいています】

ナイトクルージングは次への一歩

よく「なんで夜回りとかしてるんですか？」と聞かれることがあります。new-lookとしては、①高校中退者の現状を聞く、②経済的な事情などで塾に来れない人たちへ無料のイベントなどの案内を渡す、③最後の相談窓口としてゆるいセーフティネットの役割を果たす、といった3つの理由で夜回りを行っています。

本当は、②の意味合いをもう少し充実させるために、経済的に厳しい状況の人たちに奨学金などをお渡ししてTOB塾で学んでもらう仕組みを整えたいと考えています。その制度設計などは次年度で継続検討していきたいと思っています。

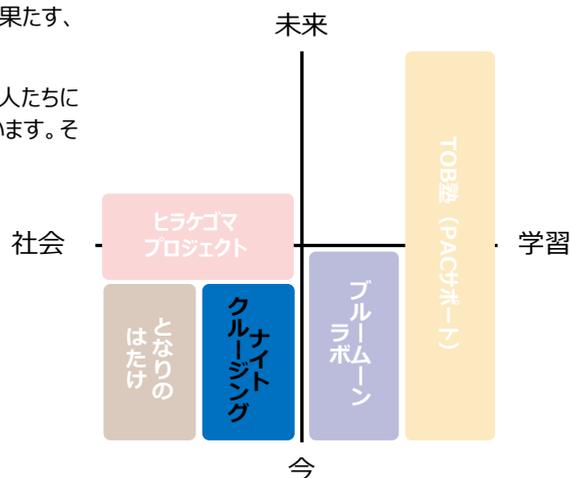


【よく出会っていた駅前ロータリー】



【冬にはイルミネーションの中を】

【new-look事業領域】



高校中退者たちに多様な経験と、スタッフの成長のために。

【ボランティア活動で社会に触れる機会を】

フィランソロピーセミナー

定期的に行っている、公益社団法人日本フィランソロピー協会さんが隔月で行う企業のCSRなど社会貢献部の方々のためのセミナーをお手伝いする機会です。

2015年 6月1日(月)・7月21日(火)・9月28日(月)・11月25日(木)

2016年 1月28日(木)・3月14日(月)

リレー・フォー・ライフ・ジャパン神戸

がん患者に勇気と希望を与えるチャリティーイベント。
TOB塾生からのつながりで2年目のお手伝い。



【お仕事を終え、セミナーを聞く2人の塾生（手前）】

【塾生とスタッフとの交流イベントも】

武庫川バーベキュー&キャンプ

卒塾生も交じて、河川敷いっぱいに使って動いて食べて話しての一夜を過ごしました。

2015年5月16日（土）～17日（日）



【←まだまだ元気なころ。塾生、卒塾生、スタッフで1枚】

【担当講師から卒業していく塾生に贈り物→】

年度末お疲れ様会（TOB塾卒塾式）

希望通りの進路を獲得できた塾生も、そうじゃなかった塾生も、自分を見つめた経験を持って次の道に。

2016年3月19日（土）



【さまざまな塾生がいるからこそ行う、スタッフ勉強会】

new-look全体会

毎月第3土曜日に実施。宿泊研修は2016年2月27日(土)-28日(日)

毎回10人前後が集まる全体会。塾生の状況の共有や意見交換、外部から講師を招いての研修など、試行錯誤しながら行っています。

今年度は「ドコモ市民活動団体への助成金」をいただき、宿泊研修も実施できました。

■ゲスト講師

1月16日(土)：臨床心理士 岡崎剛さん（メンタルワークス大阪 代表）

2月27日(土)：長尾文雄さん（フリーランス）

主催イベント

今年度は年度内事業には入っていませんが、高校中退者を対象としたイベントを年1回行っております。2015年3月にはシンポジウムを行いました。今後は「turning point」という名称で、まずは2016年5月に、それ以降も毎年3月の開催を目指してやっつけようと思っております。他にも、高卒認定についての説明会を試験の申し込みの時期に合わせて年2回開催していきます。

イベントの開催は、高校中退者に直接発信することができるという点の他に、すでにnew-lookと関わる塾生などが、スタッフとして一つのイベントを作り上げていく大切な機会にもなります。イベントの内容もさることながら、スタッフや塾生の成長も見てください。

今年度もたくさんのメディアに取材していただきました。new-look全体の話から、個々の事業や新規事業であるブルームーラボ、塾生個人にフォーカスしたもので、様々な形で取りあげていただきました。感謝です。

テレビや新聞、雑誌、フリーペーパーなどメディアからの取材は年々増えてきております。特にインタビューについては塾生たちとも相談しつつ、「ポジティブな高校中退」を発信できるように努めています。

メディア 講演 など

露 出

Newspaper

2015.5.22 Fri.

朝日新聞

「いま子どもたちはNo.911
進路変更」(塾生インタビュー)

2015.6.29 Mon.

朝日新聞

「育む 野菜も私たちも 高校中退者らが朝市」(となりのはたけ)

2016.2.20 Sat.

神戸新聞

「夜の仕事場に学習塾が出張 開店前。1時間半の授業」(ブルームーラボ)

2016.3.2 Wed.

朝日新聞

「夜の街で出前授業 働く女性 高卒認定・資格取得へ」(ブルームーラボ)



【放映を鑑賞するスタッフたち】

TV

2015.4.7 Tue.

MBS「ニュースVOICE」

【特集】中退者の居場所を作る元教諭 (new-look)

2016.3.11 Fri.

テレビ大阪「ニュースリアルフライデー」

【特集】特集 夜の歓楽街で出張授業 (new-look)

2016.3.24 Thu.

NHK「おはよう関西」

【シリーズ・旅立ちの時】高校中退からの“卒業”塾から新たな第一歩 (TOB塾)

Lecture Talk

2015.5.22 Fri.

関西学院大学社会学部
NPO・NGO論

「現在までのnew-lookの歩み」

2015.6.20. Sat.

公益社団法人日本青年会議所 第29回人間力大賞
FINAL20プレゼンテーション

2015.6.24. Wed.

大阪市立大学創造都市研究科都市共生社会研究分野シンポジウム

話題提供 講演

2015.6.25 Thu.

関西学院大学文学研究科

「若者が抱える問題・学校教育の課題・現在の取組内容など」

2015.7.25 Sat.

ひょうごコミュニティ・ビジネス1Dayスクール

「しごととしてのコミュニティビジネス」

2015.7.26 Sun.

武庫川臨床教育学会

「子ども・若者の発達援助職としての教師」

講演・取材 依頼受付中

info@new-look.jpまで

2015.9.27 Sun.

第4回 丹波市地域教育フォーラムwith 氷上西高校

基調講演

2015.10.24 Sat.

NPO法人みらいず スタッフ研修

「高校中退者へのかかわり方。具体事例を踏まえて」

2016.1.8 Fri.

園田女子大学 ボランティアの理論と実践

「現在までのnew-lookの歩みとボランティアの役割」

財務・会計の報告

正味財産増減計画書の要旨 (2015年4月1日から2016年3月31日まで)

(円)

科目		金額
1	受取会費	12,000
2	受取寄付金	1,982,000
3	自主事業収益	6,770,000
4	その他収益 (受取利息・雑収入)	375,500
収益計		9,139,500
1	事業費	6,396,594
	人件費	4,509,789
2	管理費	2,537,238
	人件費	1,229,448
費用計		8,933,832
当期正味財産増減額		90,368
前期繰越正味財産額		-169,734
次期繰越正味財産額		-79,366

貸借対照表の要旨 (2016年3月31日現在)

(円)

	科目	金額
資産 の部	1 流動資産	1,848,295
	現金	257,077
	普通預金	1,160,322
	前払費用	406,896
	未収入金	24,000
	2 固定資産	363,026
	資産の部合計	2,211,321

	科目	金額
負債 の部	1 流動資産	2,290,687
	前受金	116,000
	役員借入金	1,926,319
	未払金等	248,368
	負債の部合計	2,290,687
正味財 産の部	1 正味財産	-79,366
	正味財産の部合計	-79,366

たくさんのサポートありがとうございました。

new-lookの活動は皆さまからの温かいサポートによって支えられています。

今年度は個人の皆さまから1,482,000円の寄付をいただきました。

また、助成金として「ドコモ市民活動団体への助成金」さまから500,000円のサポートしていただきました。

たくさんのサポート、本当にありがとうございました。

寄付者の方々

new-lookの活動を応援してくださっているサポーターの方々をご紹介します。

今回は定期的にサポートを継続してくださっているお2人のご紹介です。いつも温かいサポートを本当にありがとうございます。

お名前：匿名希望

ご職業：公立小学校の不登校生徒支援員

お名前：北村よしみさま

ご職業：主婦

仕 事柄、通信制高校の先生とお話する機会に恵まれており、new-look主催の2015年3月の講演会を聞きに行ったのがそもそのきっかけです。

以前から漠然と何かしら継続的な支援をしたい思いがあったこと、そして当日、不登校経験を持つ方のお話が私の心を捉えることとなり、以降継続的な支援をさせていただいています。

僅かながらではありますが、大きな実りとなることを願ってやみません。これからも応援させていただきます。

中・高生になると、何が原因で悲惨な事件を起こすのか、ニュースを見るたびに感じていました。

そんな時、ラジオで頑張っている山口さんのことを知りました。一生懸命努力されている姿に、少しでも役に立つことができばと思います。

これからも、今まで仕事で得た知識や経験を生かしながら応援していきたいと思っています。

new-lookサポーター募集中！

「高校中退」と向き合うこと = 社会問題と向き合うこと



高校中退という問題は「サボっている」というように本人に責任が転嫁されがちで、中退者の背景にある原因が目に見えないことが多いのかもしれない。

しかし高校中退には世の中に溢れているさまざまな社会問題という根っこが潜んでおり、高校中退と社会問題は切っても切れない関係にあるのです。

中退を経験した若者たちが、次のステップに進みにくくなる前に、問題がそのままにされて新たな社会問題を生み出す前に、new-lookとして関わりを持てればと思っています。

物品のサポート



TOB塾に通う塾生さんが読む参考書や書籍を募集しております。

現金でサポート



new-lookのすべての活動を応援して下さる方を募集しております。

ゲストとしてサポート



ヒラケゴマプロジェクトのゲストとして、高校中退の経験を伝えて下さる方を募集しております。

サポートのお申込みはこちら。

◆お電話にて 0798-56-7139

◆メールにて info@new-look.jp

◆Webにて <http://www.new-look.jp>



new-lookが目指す方向

new-lookは「高校中退に関わるすべての若者が、自分らしく生きるきっかけを見つける」ことを目指しています。これを実現するために、次の3つの視点で事業を進めていきたいと考えています。

- ① 高校中退（中卒）からでも多様な生き方ができるという気付き
- ② 次のステップ（進学や就職）までの道のりの明確化と次までのつなぎ
- ③ 高校中退（中卒）者が生きていく道を自分で選択できる環境づくり

2016年度に向けて 理想も現実も。やりたいことリストを、できることから実施していきます。

<p>TOB塾（既） 【高卒認定問題集の完成】</p> <p>2015年度から取り組んでいる学習ツールの作成。全8教科の完成を目指します。</p>	<p>その他の活動（新） 【高卒認定説明会】</p> <p>イメージだけで、実態とは違う伝わり方もしている高卒認定。無料の説明会で正確な情報提供と、受験への意欲の醸成を目的とします。</p>	<p>TOB塾PACサポート（新） 【Webでの学習ツール作成】</p> <p>通塾する時間とお金が困難な人たちに対応できるようにするため、廉価で自宅にてできる高卒認定合格ツールを整えます。</p>	<p>ヒラケゴマプロジェクト（既） 【事業専用PCの導入】</p> <p>編集のためのPCを整備し、動画の編集スピードアップを図ります。</p>
<p>ブルームーンラボ（既） 【新規開拓手段の確立】</p> <p>制度の設計と、導入までの手段を探り、現在の1店舗を3店舗程度まで増やすことを目標とします。</p>	<p>TOB塾（新） 【自習室の整備】</p> <p>勉強できる環境の充実させ、着実に勉強できる習慣を身につけてもらうことにより希望の進路を叶えていきます。</p>	<p>事務局（既） 【バックオフィスの確立】</p> <p>これから加速していくnew-lookを支える人事、総務、会計などの土台を整えます。</p>	<p>となりのはたけ（既） 【地域とのイベント】</p> <p>地域の子どもたちを集めて、生産した野菜を調理し、食事をするイベントを、大学生スタッフを中心に企画します。</p>
<p>名称未定（新） 【就職相談窓口の設置】</p> <p>ナイトクルージングでお金や仕事のニーズと多く出会います。進学の外に、就職につなげられる道を模索していきます。</p>	<p>TOB塾PACサポート（新） 【新たな広報手段の模索】</p> <p>幼稚園、保育園へのリーフレットの設置以外の広報手段を考え、実行します。</p>	<p>事務局（新） 【法人とのつながりを】</p> <p>これまで動いてこれなかった、企業さんとのつながりを、スポンサーのお願いをメインとして進めていきます。</p>	<p>その他の活動（既） 【turning point 2016】</p> <p>音楽×高校中退のイベントをライブハウスをお借りして実施します。</p>
<p>ナイトクルージング（新） 【高校生徒指導部との連携】</p> <p>中学が荒れている地域などの情報提供を受けて、その地域を重点的に回ります。</p>	<p>ヒラケゴマプロジェクト（新） 【企画番組の制作】</p> <p>インタビュー動画を撮影・編集するだけでなく、「高校中退」をテーマにしたポップな番組を制作し、関心を高めます。</p>	<p>TOB塾（新） 【寮の整備】</p> <p>遠方からの問い合わせなどのニーズに応えるため、また、高校中退者の最も合理的な生活を体現するため、寮を運営します。</p>	<p>ナイトクルージング（既） 【安定した実施の仕組み】</p> <p>今年度の「ドコモ市民活動への助成金」のように、夜回りの安定実施のために、資金調達と人材育成を行います。</p>
<p>TOB塾（既） 【TOB塾のシステム化】</p> <p>塾生の増加で、代表の個人的な裁量だけでは最大限の効果が発揮できなくなってきたので、教育制度を見直し整えます。</p>	<p>その他の活動（既） 【turning point 2017】</p> <p>「高校中退の先輩の話をじっくり聞く」というコンセプトのもと、3回目の自主イベントを開催します。</p>	<p>名称未定（新） 【高校中退者ネットワーク】</p> <p>全国に散らばる高校中退者・中卒者が加盟できる組織を作り、現中退者たちとの交流を図ります。</p>	<p>社会体験（新） 【他団体との宿泊イベント】</p> <p>塾生たちにいろんな世界を経験してもらうために、日常から離れての合宿イベントを行います。</p>

一般社団法人 *new-look*

代表理事：山口 真史

設立：2013年5月1日

〒663-8032

兵庫県西宮市高木西町14号6番

TEL・FAX:0798-56-7139

URL:<http://www.new-look.jp>

この報告書は「ドコモ市民活動団体への助成金」により作成いたしました。

TOB塾
WEBサイト



ヒラカドマのデザイン
WEBサイト



new-look
Facebook



TOB塾
Twitter

